

1 調査名称：（沖縄市）総合都市交通体系調査

2 調査主体：沖縄市

3 調査圏域：市全域

4 調査期間：平成28年度

5 調査概要：

沖縄県における陸上交通は専ら自動車に依存しており、道路・交通体系が住民生活に与える影響は大きい。このため、本市では慢性化する交通渋滞の解消や環境問題への配慮、多様化する都市機能等への対応を図り、交通の円滑化と活力ある地域づくりに向けて、本市のまちづくり関連施策や、国・沖縄県で進められている施策を計画的かつ戦略的に展開するため、平成26年度から平成27年度にかけて交通施策に関する基本方針等を示した沖縄市交通基本計画を策定し、基本計画に基づき重点的に実施する施策等を定めた沖縄市総合交通戦略を策定した。

本業務においては、基本計画や戦略等に基づき、都市計画道路の整備を重点的・効率的に推進するための都市計画道路整備プログラムを策定する。

I 調査概要

1 調査名称：（沖縄市）総合都市交通体系調査

2 報告書目次

1. はじめに

1.1 目的

1.2 策定フロー

2. 沖縄市の概況及び将来計画の整理

2.1 沖縄市の概況

2.2 上位・関連計画

2.3 課題・問題点の整理

3. 将来道路網の設定

3.1 道路整備の方向性

3.2 将来道路網の設定

3.3 交通量推計

4. 早期事業化路線の選定検討

4.1 道路整備の概要

4.2 評価指標の設定

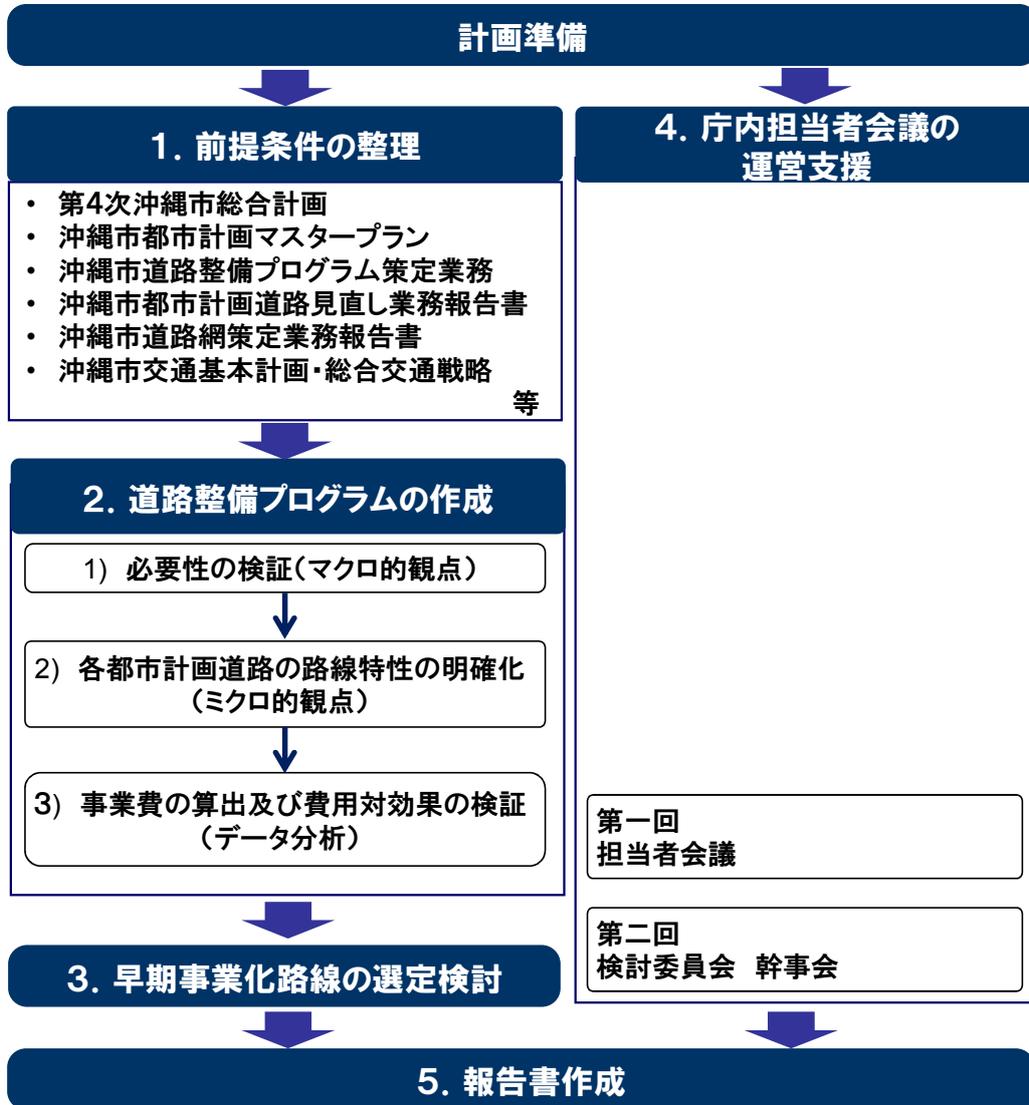
4.3 事業化必要性の検討

5. 結果のまとめと今後の方向性

5.1 結果のまとめ

5.2 今後の方向性

3 調査体制



4 委員会名簿等：

『沖縄市道路整備プログラム検討委員会』幹事会名簿

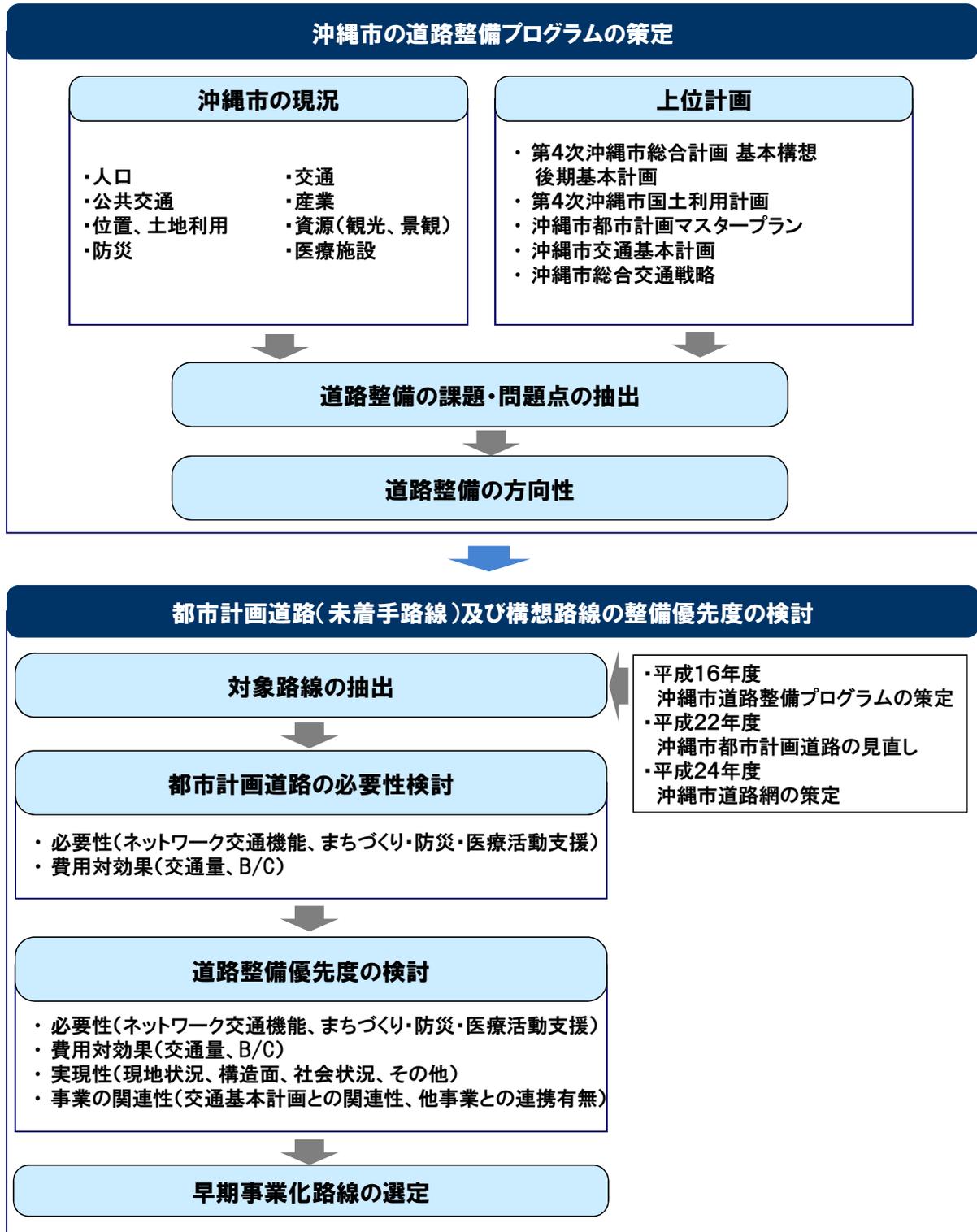
No.	所 属	職 名	氏 名	
1	建設部 都市計画担当	都市整備室室長兼都 市計画担当技幹	花城 博文	委員長
2	建設部 計画調整課	次長兼東部海浜 開発局長	川満 輝繁	委 員
3	建設部 道路課	次長兼道路課長	比嘉 直樹	委 員
4	企画部 政策企画課	課 長	神山 直也	委 員
5	企画部 プロジェクト推進室	技 幹	山城 満	委 員
6	経済文化部 農林水産課	課 長	仲宗根 慎二	委 員
7	総務部 防災課	課 長	高嶺 忠	委 員

Ⅱ 調査成果

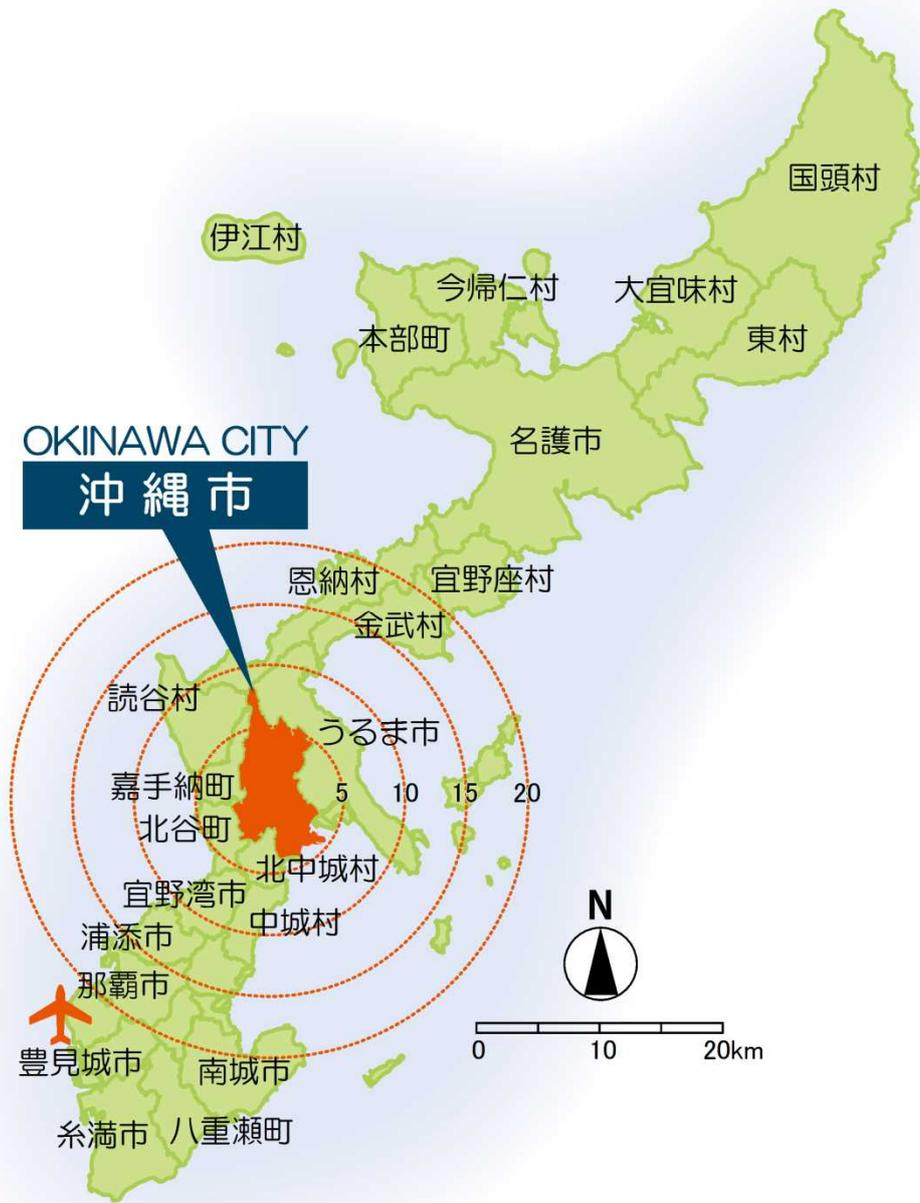
1 調査目的

沖縄県における陸上交通は専ら自動車に依存しており、道路・交通体系が住民生活に与える影響は大きい。このため、本市では慢性化する交通渋滞の解消や環境問題への配慮、多様化する都市機能等への対応を図り、交通の円滑化と活力ある地域づくりに向けて、沖縄市交通基本計画や沖縄市総合交通戦略に基づき、都市計画道路の整備を重点的・効率的に推進するための都市計画道路整備プログラムを策定する。

2 調査フロー



3 調査圏域図



4 調査成果

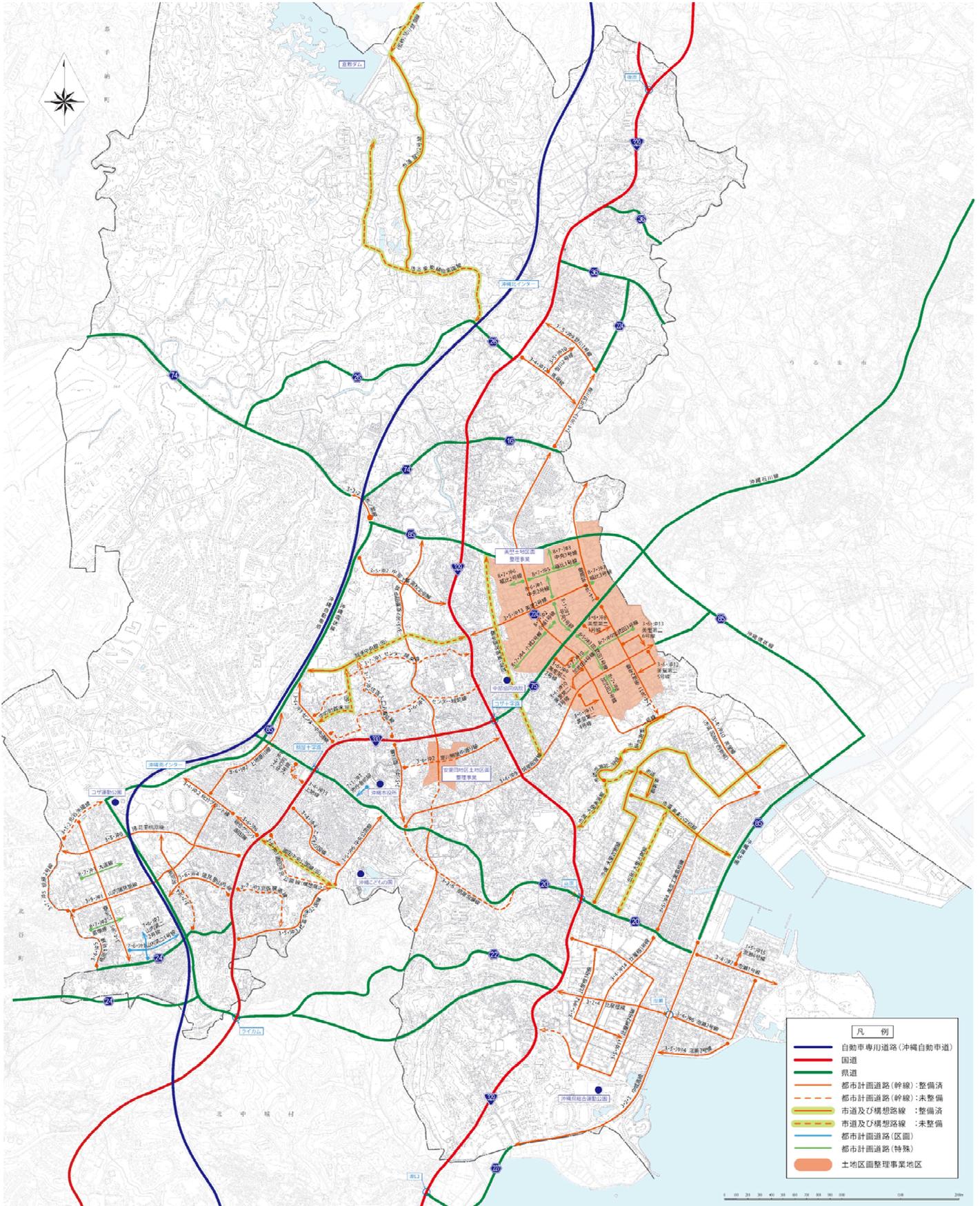


図 4.1 検討対象路線位置図

4.3.2 道路整備優先度の検討

4.3.1 で「存続」と評価された 2 路線に市道及び構想路線 7 路線を加えて「必要性」、「費用対効果」、「実現性」、「事業の関連性」の下記 4 つの視点から、各路線を評価した。

視点	項目	評価方法
①必要性	・ ネットワーク・交通機能からの必要性 ・ まちづくり支援・防災・医療活動支援	該当する（○：2点）、該当しない（－：0点）で得点化し、24点満点中合計点が12点以上の場合は、整備優先度が高い
②費用対効果	・ 交通量 ・ 費用対効果（B/C）	B/C が 1.0 以上の場合は、整備優先度が高い
③実現性	・ 現地状況 ・ 構造面 ・ 社会状況 ・ その他	実現することが容易（○：2点）、中位（△：1点）、困難（－：0点）で得点化し、20点満点中合計点が10点以上の場合は、整備優先度が高い
④事業の関連性	・ 交通基本計画との関連性 ・ 他事業との連携の有無	該当する（○：2点）、該当しない（－：0点）で得点化し、4点満点中4点以上の場合は、整備優先度が高い

【評価基準】

短期：①～④の4項目すべてにおいて整備優先度が高い。

①～④のうち3項目において整備優先度が高く、かつ費用対効果が1.2を上回る。

中期：①～④のうち3項目において整備優先度が高い。

長期：①～④のうち2項目以下において整備優先度が高い。

【評価結果】

短期	③明道2号線、④園田中央公園線（仮）、⑥越来中央線（仮）
中期	②室川照屋中通り線、⑤中の町越来線（仮）、⑦（仮称）美里宮里中線
長期	⑧市道 大里美浦線、⑨（仮称）大里古謝線、⑩（仮称）登川楚南線

表 4.9 道路整備優先度の検討

No	路線名	必要性	実現性	事業関連性	費用対効果	評価	理由
②	室川照屋中通り線	14	17	2	1.14	中期	以下の点により、中期的に整備することが望ましい。 ・災害時の避難路や安慶田土地区画整理事業との連続によるアクセス性の向上など必要性が高い。 ・計画当初可能性があった室川小学校と室川幼稚園の分断の恐れは解消されており、沿線の家屋への影響もないため、事業環境も整っている。 ・費用対効果の値が1.0を上回る。
③	明道2号線	14	18	4	1.47	短期	以下の点により、短期的に整備することが望ましい。 ・国税庁西側線と接続することで、沖縄環状線へのアクセス性及び沖縄石川線や県道224号線へのアクセス性向上期待できる。 ・古謝地区等の住民から整備要望があり、事業への支障が少ない。 ・美里土地区画整理事業との連携や、交通基本計画との連携による事業の関連性が高い。 ・費用対効果の値が1.2を上回る。
④	園田中央公園線(仮)	16	15	4	1.04	短期	以下の点により、短期的に整備することが望ましい。 ・沖縄南ICと沖縄こども未来ゾーンとを接続する観光支援道路、広域避難場所へのアクセス性向上など必要性が高い。 ・国道330号へのアクセス性の向上させ、広域避難場所(コザ運動公園)へ連絡し、災害支援に資する道路として必要性が高い。 ・現況道路に家屋が多く家屋への影響があるが、こどもの国の整備計画との連携を図ることができ、実現性・事業関連性が高い。 ・費用対効果の値が1.0を上回る。
⑤	中の町越来線(仮)	12	12	2	1.01	中期	以下の点により、中期的に整備することが望ましい。 ・国道330号や沖縄環状線などを補完する道路、地域の避難路として必要性が高い。 ・国道330号を通過するため、補償物件数も多く周辺住民に与える影響が大きい。公共施設や文化施設等に与える影響はないことから実現性は高い。 ・費用対効果の値が1.0を上回る。
⑥	越来中央線(仮)	16	11	2	1.76	短期	以下の点により、短期的に整備することが望ましい。 ・国道330号や沖縄環状線などを補完する道路、沖縄自動車道(沖縄南IC)へのアクセス道路として必要性が高い。 ・主要幹線道路の依存を少なくする道路 ・既成市街地を通過するため、補償物件数も多く周辺住民に与える影響があるが、地域の利便性が向上するなど実現性は高い。 ・交通基本計画に位置づけられている。 ・費用対効果の値が1.2を上回り2.0に近い値となっている。
⑦	(仮称)美里宮里中線	16	13	2	1.09	中期	以下の点により、中期的に整備することが望ましい。 ・中部協同病院の近くに位置するため、救急医療活動支援道路として必要性が高い。 ・国道329号への依存を少なくする道路として必要性が高い。 ・既成市街地を通過するため、補償物件数も多く周辺住民に与える影響があるが、病院への利便性が向上するなど実現性は高い。 ・費用対効果の値が1.0を上回る。
⑧	市道 大里美浦線	8	17	2	0.40	長期	以下の点により、長期的に整備することが望ましい。 ・津波災害時の避難路や小学校のアクセス路としての機能はあるが必要性はそれほど高くない。 ・既存の道路は交通量が多いが歩道が未整備であり、住民から整備が望まれている(沖縄市道路網策定業務(平成24年度)より)ため、実現性は高い。 ・費用対効果の値が1.0を下回る。
⑨	(仮称)大里古謝線	10	19	2	0.87	長期	以下の点により、長期的に整備することが望ましい。 ・避難路となる小中学校のアクセス路であるが、平行して市道大里古謝線及び市道美里工業高校線は整備されているおり、必要性はそれほど高くない。 ・農業振興地域の見直しが必要であるが、周囲への影響は少なく、実現性は高い。 ・費用対効果の値が1.0を下回る。
⑩	(仮称)登川楚南線	6	14	4	0.21	長期	以下の点により、長期的に整備することが望ましい。 ・倉敷ダム周辺の観光地へのアクセス道路、沖縄市新アグリビジネスのアクセス道路とされているが、沖縄市新アグリビジネスの整備時期が未定であるため、必要性が少ない。 ・米軍基地に隣接していることから事業の支障となる可能性があるが、家屋への影響が少なく、実現性は高い。 ・費用対効果の値が1.0を下回る。

次ページ以降にその詳細を示す。

表 4.13 事業の関連性の評価

No	種別	路線番号			路線名	幅員	車線数	計画延長	整備済	事業化	交通基本計画との関連性	他事業との連携の有無	合計(点)
		区分	規模	番号									
②	幹線	3	6	沖2	室川照屋中通り線	8	2	0.95	0.46	事業中	—	○	2
③		3	4	沖11	明道2号線	16	2	1.10	0.90	事業中	○	○	4
④				構想1	園田中央公園線(仮)	12	2	0.75	—	構想	○	○	4
⑤				構想2	中の町越来線(仮)	12	2	0.73	—	構想	○	—	2
⑥				構想3	越来中央線(仮)	12	2	1.508	0.468	構想	○	—	2
⑦				構想4	(仮称)美里宮里中線	12	2	1.80	—	構想	○	—	2
⑧				構想5	市道 大里美浦線	12	2	0.79	—	構想	○	—	2
⑨				構想6	(仮称)大里古謝線	12	2	1.00	—	構想	○	—	2
⑩				構想7	(仮称)登川楚南線	12	2	3.56	—	構想	○	○	4